

こもりだ
6 小森田 〈千代田町〉
(人口 283 人、世帯数 79 世帯)

地区の伝統行事は、25年に一度、千代田町の崎村冠者神社に奉納される女浮立です。

昨年9月、775年の大祭が盛大に行われたときに奉納しました。男の浮立は数多くありますが、女浮立は県内でも珍しく、今では県内外から多くの見物客が訪れます。

この浮立を親から子、若嫁、孫に伝承していくため地区住民全員で頑張っています。

また、県の催し物や市の催し物があるときなどは、極力参加しています。皆さん、機会がありましたらぜひ見に来てください。



▲県内でも珍しい女浮立

たかし
5 高志 〈千代田町〉
(人口 118 人、世帯数 35 世帯)

地区に伝わる伝統芸能は、地区の人々が約200年に渡り受け継いでいる鷲流の流れをくむ高志狂言です。なかでも、明治初期に途絶えたといわれるこの鷲流狂言の秘曲「半銭」を復活させ、今に伝えています。昭和46年に県重要無形民俗文化財に指定、同47年には、国の無形民俗文化財に選択されています。

狂言は、毎年10月12日、高志神社の秋祭りの日に、境内にある舞台上で奉納され、また、祭りにあわせて、高志神社に隣接する広場で氏子による親睦ゲートボール大会も行われます。



▲毎年奉納される高志狂言

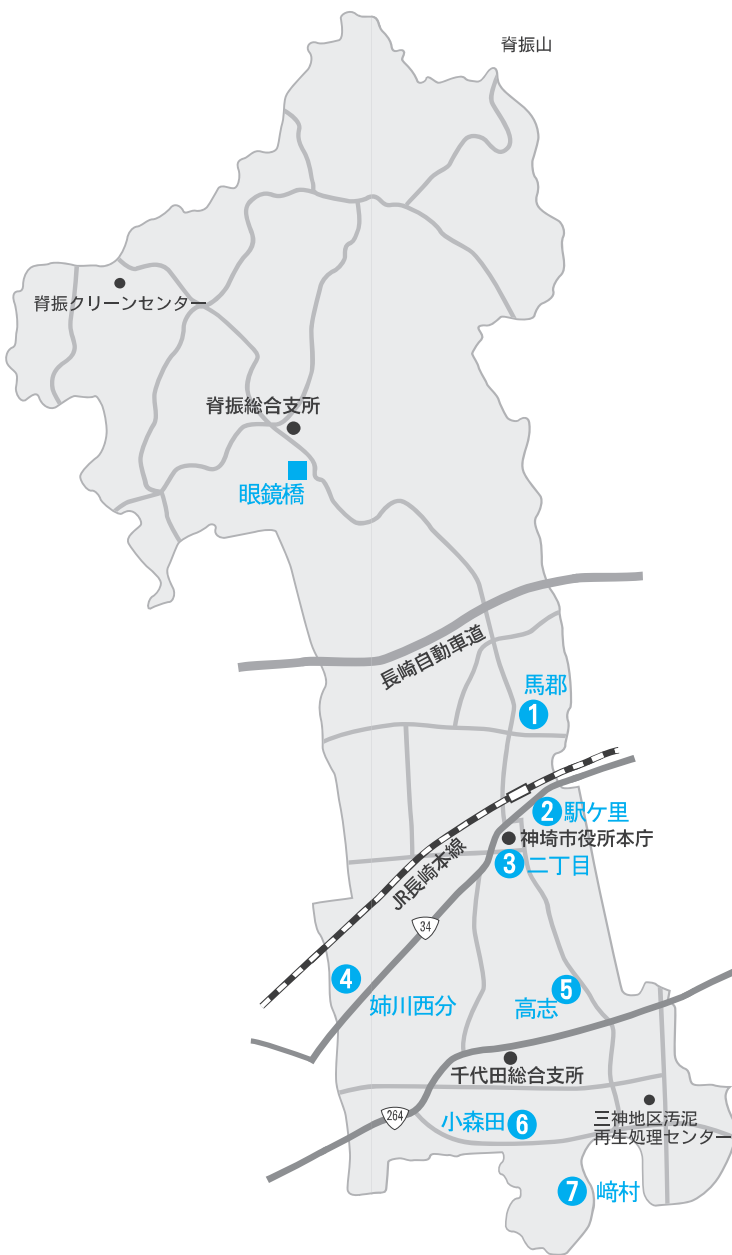
地区紹介 2



神崎市も合併後3年目を迎えました。市民相互の理解と融和を図るため、4月号より市内121地区(神埼:63地区、千代田:49地区、脊振:9地区)を紹介しています。

今回は、7地区を紹介します。

※人口、世帯数は、平成20年3月末の住民基本台帳のデータです。



えきがり
2 駅ヶ里 〈神埼町〉
(人口 679 人、世帯数 238 世帯)

駅ヶ里は、神埼市の東部に位置し、古くに駅が置かれていた場所と考えられています。

地区の公民館を平成15年に新築し、各種地区行事に活用しています。

地区行事では、大明神・天神様の祭りをはじめ、子どもクラブ歓迎迎会や子どもクラブと老人クラブの対話集会としてグラウンドゴルフ大会などを行っています。

特に老人クラブは、子どもクラブとの連携や除草作業など活発に活動し、このような活動が評価され、平成18年には、全国老人クラブ連合会から表彰されました。



▲老人クラブと子どもクラブの交流

まぐい
1 馬郡 〈神埼町〉
(人口 149 人、世帯数 38 世帯)

地区の東側には、吉野ヶ里丘陵地が広がり、また、近くには、奈良時代に整備された官道があり、各地との交流の際に人夫や馬の継立や宿泊をさせるための重要なところであったと考えられています。

地区の名前の由来は、大和時代に軍馬、その他の馬を飼養した馬飼部が居住したところであったことから、馬郡(まごうり)と名づけられたといわれています。

明治時代は「まぐり」、現在では「まぐい」と呼ばれるようになりました。



▲馬郡の地名の由来の再現イラスト

めがねばし
眼鏡橋 〈脊振町〉

県道21号線沿いに眼鏡橋があります。

1891(明治24)年につくられた高さ14m、長さ20m、幅6mの城原川にかかる石造りの橋です。

脊振峡に映えて、がっちりと絶壁に誇り、100年以上にわたる脊振町の発展を支えてきた屈指の名橋です。

上流には、三段滝があり、涼を楽しむことができます。6月下旬ごろには、近くの山の斜面にアジサイが咲きます。



▲脊振の自然が満喫できる眼鏡橋

さきむら
7 崎村 〈千代田町〉
(人口 536 人、世帯数 142 世帯)

地区の伝統行事は、25年に一度の冠者神社の式年大祭です。旧千歳村の氏子約870戸の方々の奉賛により、昨年9月には、775年式年大祭が盛大に行われました。

29日には、下の若宮神社、小森田冠者神社までのお下り、30日には、小森田冠者神社から崎村冠者神社までお上り、到着後、獅子舞、浮立が奉納され、式典は終了しました。

また、毎年11月3日には、冠者神社の秋祭りがあり、千歳地区子ども全員による相撲大会、夜間の部には、崎村青年団主催で舞踊が行われます。



▲盛り上がった775年式年大祭

あねがわにしぶん
4 姉川西分 〈神埼町〉
(人口 207 人、世帯数 61 世帯)

姉川西分は、神埼市の西端に位置し、佐賀市に隣接しています。

地区の代表的な祭りは、麦の収穫や田植えが終わり、ひと段落した7月25日に行う「祇園祭」です。

祭りに飾る「天上花」は、子どもから高齢者まで地区住民参加により、世代間の交流を深めながら、一本ずつ手作業で作っています。

「天上花」は、地区内の天満神社・公民館および各家庭に飾り、一年間の地区住民の無病息災や五穀豊穡を祈ります。



▲交流を深めながらの「天上花」づくり

にちょうめ
3 二丁目 〈神埼町〉
(人口 397 人、世帯数 145 世帯)

二丁目は、神埼町の中心部を流れる馬場川を挟む細長い地区です。

伝統行事は、特にありませんが、旧神陽学館の隣にある「下の宮」のサクラの満開時には、提灯やライトアップで見事な風景となります。

夏には、地区で取り組む「お祭り広場」が子どもたちの手伝いにより行われ、そうめん流し、かき氷などの夜店が並びます。また、各家庭や会場で抽選券を配布し、空クジなしでお土産つきとあり、大変盛り上がります。



▲地区住民が楽しみにしている「お祭り広場」